



ShineNeT Internet Service

インターネット接続ガイド

Windows XP 編



第1版 2003年1月1日 発行

Shine On
Scalable, *hi*-quality *network On* ...

有限会社 シャイン・オン



インターネット接続ガイド
Windows XP 編

2003年1月1日 発行

許可なく複製、転載を禁ずる。

Shine On
Scalable, *hi*-quality *network On*...

有限会社 シャイン・オン

ここでは、Windows XP でのインターネット接続の設定を説明します。

お送りしました、『**ShineNeT Internet Service** 設定書』を用意して、接続用 ID 及び、接続用パスワードをご確認下さい。

また、モデム又はTAを新たに接続する場合は、付属していたフロッピーディスク又はCD-ROMを準備して下さい。

 **モデムを確認します。**

モデム内蔵のパソコンの場合は、出荷時にモデムが設定されています。この場合は、『2．インターネット接続ウィザードの起動』に進みます。

WindowsXPのスタートメニューから[コントロールパネル]を選択します。



[プリンタとその他のハードウェア]を選択します。



[電話とモデムのオプション]を選択します。



「電話とモデムのオプション」が表示されます。



「モデム」タブをクリックします。



現在、設定されているモデム又はTAが表示されます。

もしも、モデム又はTAが表示されない場合は、設定されていないのでモデム又は、TAをパソコンに接続してから、モデム又はTAに付属の説明書に従い設定を行います。

確認後、

『OK』をクリックします。

以上で、モデムとTAなどの通信デバイスの設定は終了です。

2 インターネット接続の作成



WindowsXPのスタートメニューから[コントロールパネル]を選択します。



[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。



[ネットワーク接続]をクリックします。



現在のネットワークの設定一覧が表示されます。
この例では、パソコンにLANカードがインストールされていて、ダイヤルアップ接続でのインターネット接続の設定は作成されていません。

ここでは、インターネット接続の設定を作成します。

[ネットワーク タスク]の中から[新しい接続を作成する]をクリックします。

これで、『新しい接続ウィザード』が起動されます。



[次へ] をクリックします。



[インターネットに接続する(C)] を選択してから、
[次へ] をクリックします。



[手動で接続をセットアップする(M)] を選択してから、
[次へ] をクリックします。



[ダイヤルアップモデムを使用して接続する(D)] を選択してから、
[次へ] をクリックします。



ここで、複数のモデムやTAなどの通信デバイスがインストールされている場合には、選択する画面が表示されます。

インターネット接続で使用するモデムまたは、TAなどの通信デバイスの中から使用する機器を選択します。



接続名を入力します。

ここでは、例として "shinenet" とします。
ISP 名に「shinenet」と入力します。
[次へ] をクリックします。



シャインネットへの接続電話番号を入力します。

お送りしました、『ShineNeT ダイアルアップ接続 アクセス電話番号一覧』をご確認いただき、正確に入力してください。

岡山 AP	086-282-6580
倉敷 AP	086-242-0171
倉敷 AP(PHS)	086-242-0175
総社 AP	0866-90-0883
真庭 AP	0867-44-7630

フレッツ ISDN の場合は、全国共通番号 **1492** を入力します。
【次へ】 をクリックします。



シャインネットへの接続用アカウントを設定します。

[ユーザー名] と [パスワード] は、ご契約者毎に異なります。当事務局よりお送りしました、『ShineNeT ダイアルアップ接続設定書』を確認しながら、正確に入力します。

[ユーザー名] には、" 接続用 ID" の内容を、
フレッツ ISDN を利用して接続する場合は、
Dialup ID@shinenet.ne.jp
と入力します。

フレッツISDNの場合



[パスワード] には、" 接続用パスワード" の内容を入力します。

[パスワード] で入力した文字は、*****と表示されます。

【次へ】 をクリックします。



以上で、新しい接続が作成されます。

【完了】 をクリックします。



「shinenet」接続アイコンにマウスポインタを合わせてから、マウスの右ボタンを押します。
メニューが表示されますので、「プロパティ」を選択します。



「shinenet のプロパティ」が表示され、[全般]タブの内容が表示されます。

『接続の方法』

ダイヤルアップ接続に使用するモデムをチェックします。
インストールされているモデム、またはTAなどの通信デバイスが1個のみの場合は、チェックボックスは表示されません。

『市外番号(E)』

何も入力しません。

『電話番号(P)』

利用するアクセスポイントの電話番号が表示されている事を確認します。
市外局番を含めて電話番号を入力します。
フレッツ ISDN をご利用の場合は、全国共通の電話番号

『1492』となっていることを確認します。間違えて、シャインネットのアクセスポイントに接続すると、通常の電話番号が発生しますのでご注意ください。

『ダイヤル情報を使う(S)』

チェックする。
チェックすると、『ダイヤル情報(R)』ボタンがクリックできるようになります。

『接続時に通知領域にアイコンを表示する(W)』

チェックします。

『ダイヤル情報(R)』ボタンをクリックします。

「電話とモデムのオプション」が表示されます。



[所在地情報]を選択してから、『編集(E)...』をクリックします。

「所在地の編集」が表示されます。



『市外局番(C)』

現在の場所（お住いの場所）の市外局番を入力します。

『ダイヤル方法(W)』

回線種別を選択します。

プッシュ回線の場合は、「トーン(T)」一般電話回線の場合は、「パルス(P)」を選択します。

選択が間違っていると、ダイヤル時に話し中(BUSY)と表示される場合があります。

[OK] をクリックします。

「電話とモデムのオプション」に戻ります。



[OK] をクリックします。

「shinetのプロパティ」に戻ります。

「オプション」タブをクリックします。



『接続中に進行状況を表示する(D)』

チェックします。

『名前、パスワード、証明書などの入力を求める(P)』

チェックします。

『Windows ログオン ドメインを含める(W)』

チェックしない。

『電話番号の入力を求める(M)』

チェックします。

「セキュリティ」タブをクリックします。



『セキュリティ オプション』

『標準（推奨設定 X(T)）』を選択します。

『IDを確認する方法(W)』

『セキュリティで保護されていないパスワードを許可する』を選択します。

「ネットワーク」タブをクリックします。



『呼び出すダイアルアップサーバーの種類(E)』

『PPP,Windows 95/98/NT4/2000,Internet』を選択します。

『この接続は次の項目を選択します(O)』

『インターネットプロトコル(TCP/IP)』がチェックされている事を確認します。

『インターネットプロトコル(TCP/IP)』を選択してから、『プロパティ(P)』をクリックします。

『インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ』

『アドレスを自動的に取得する(O)』を選択します。

『DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する(B)』を選択します。

[OK] をクリックします。



「shinet.netのプロパティ」に戻ります。



「詳細設定」タブをクリックします。

『インターネット接続ファイア - ウォール』

『インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する(P)』をチェックします。

[OK] をクリックします。



以上でインターネット接続の設定は、全て終了です。

インターネットへの接続方法及び切断方法。

WindowsXPのスタートメニューから[コントロールパネル]を選択し、[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。続いて、[ネットワーク接続]をクリックします。



表示された、インターネット接続から、先程作成した "shinetnet" をダブルクリックします。



「shinetnet への接続」ウィンドウが表示されます。

内容を確認して、[ダイヤル] ボタンをクリックします。



これで、シャインネットのアクセスポイントにダイヤルして、接続されます。



接続すると、画面の右下に左図のようなコンピュータのアイコンが表示されます。

このアイコンをクリックすると、接続状態が表示されます。



切断する場合は、[切断] ボタンをクリックします。

Appendix A

モデムを使用する場合、ダイヤル方法の切替について

電話回線からモデムを使用して接続する場合、何度接続しても『話し中』または、『相手のコンピュータが応答しない』と表示されて接続できない場合があります。

この場合、ダイヤル方法を確認して下さい。

トーンは、いわゆる【プッシュホン】のことで、NTTとプッシュホン回線の契約を行っている場合です。

パルスは、従来からの電話回線です。

電話機が、プッシュホンであっても、NTTとプッシュホン回線の契約を行っていない場合は、【パルス】です。

確認方法は、電話の受話器をとり、ダイヤルボタンを押した徳に、『ピ・ポ・パ』と受話器から音がした場合は、プッシュホン回線です。『パツ・パツ・パツ』とパルス音がした場合は、一般電話回線です。



8 ページの接続の画面で、設定を確認して下さい。

『ダイヤル方法(W)』

回線種別を選択。

プッシュ回線の場合は、「トーン(T)」一般電話回線の場合は、「パルス(P)」を選択します。

選択が間違っていると、ダイヤル時に話し中(BUSY)と表示される場合があります。

Appendix B

接続できない場合：DNSアドレスの設定。

DNSサーバーのアドレスは、接続時に通知されて、自動で設定されますが、この機能が上手く働かない場合があります。その際には、この設定をお試し下さい。



10ページの接続ウィンドウで、[プロパティ] ボタンをクリックします。



「shinetnet」のプロパティ - が表示されますので、『ネットワーク』タブをクリックします。



『インターネットプロトコル(TCP/IP)』を選択してから、『プロパティ(P)』をクリックします。



[ネームサーバーアドレスを指定する。] を選択して、
 プライマリ DNS には、**203.179.128.2** を入力します。
 セカンダリ DNS には、
 倉敷APの場合は、**203.179.128.16** を入力します。
 倉敷AP以外の場合は、**203.179.128.185** を入力します。

【OK】をクリックして開いたウィンドウ全て閉じます。

インターネット接続ガイド
Windows XP 編

2003年1月1日 発行

許可なく複製、転載を禁ずる。

Shine On
Scalable, *hi*-quality *n*etwork *On*...

有限会社 シャイン・オン